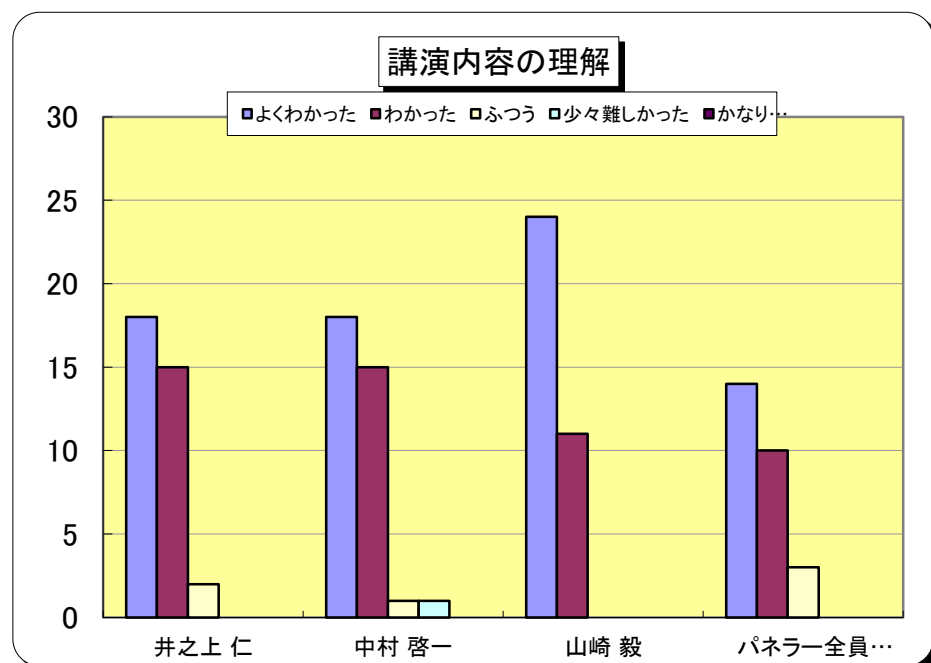
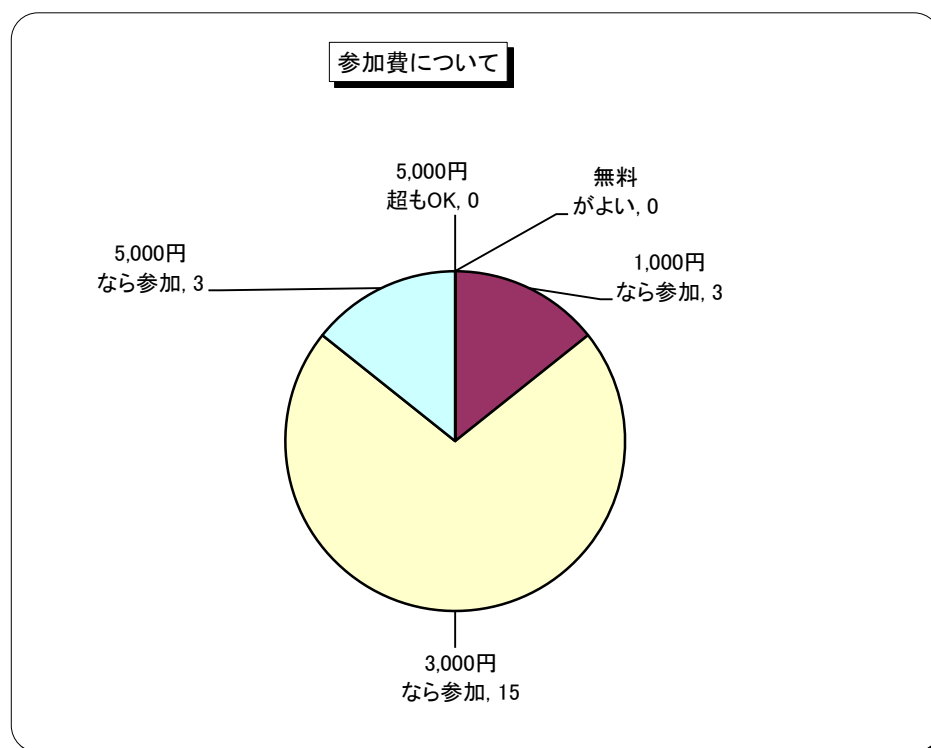


アンケート回収数35枚(参加者:58名、演者3名を除いた回収率:64%)

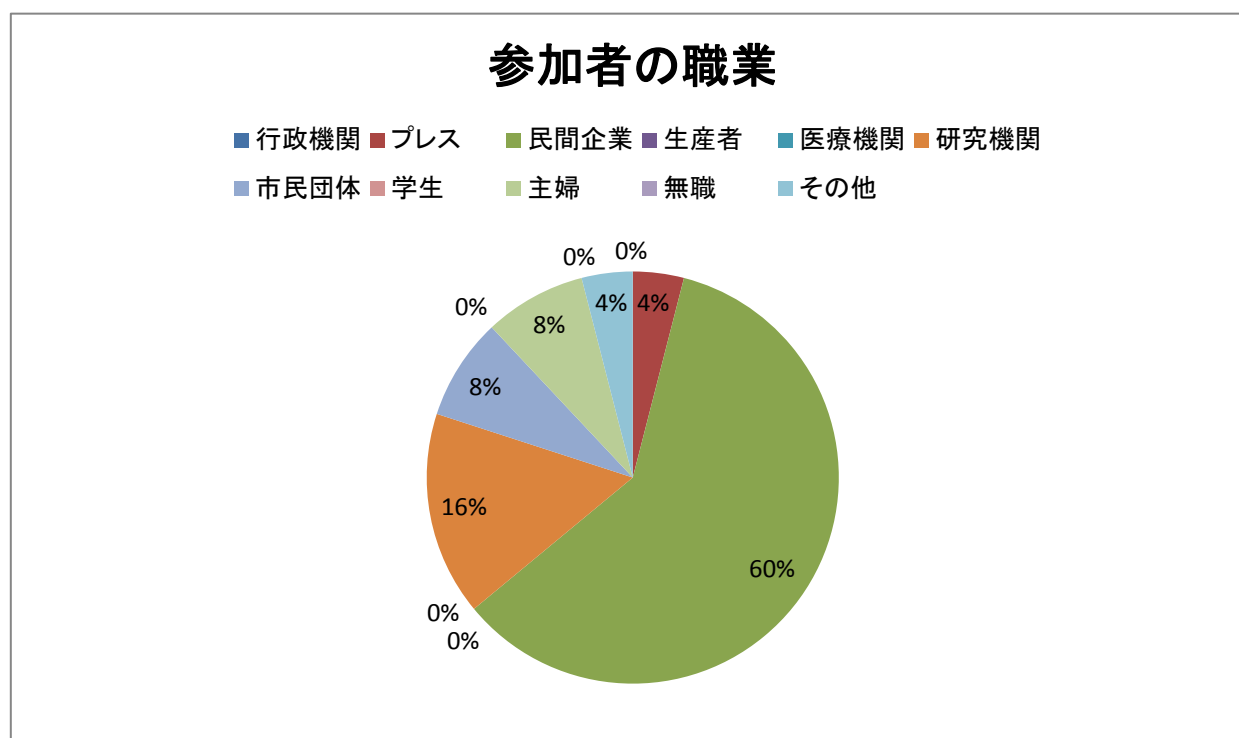
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食品表示はどうあるべきか	井之上 仁	18	15	2	0	0
2	複雑な原料原産地表示は消費者・生産者の利益になるか	中村 啓一	18	15	1	1	0
3	『「安全情報」と「安心情報」の切り分けが重要だ』	山崎 毅	24	11	0	0	0
4	パネル・ディスカッション:『原料原産地のリスクのあり方』	パネラー全員 進行:山崎	14	10	3	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	0	3	15	3	0
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でも教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスクミのために、いま何が必要でしょうか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ(ご案内メール)を不定期に発行しております。無料購読を希望の方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	人数
行政機関	0
プレス	1
民間企業	15
生産者	0
医療機関	0
研究機関	4
市民団体	2
学生	0
主婦	2
無職	0
その他	1



1	食品表示はどうあるべきか	井之上 仁
1	日生協連の対応の方向性がよくわかりました。	
2	内容の理解ができるかどうかよりも、結局言いたい事が何だったかという点が少しぼやけていたと思いました。	
5	表示問題の進められてきた経緯がよくわかりました。	
6	今回の原産地表示の改正？で改善されたことは何なのでしょうか。	
7	食品の製造、原料の調達の実態等、事業者としてよく把握しているがゆえに、この制度の問題点や課題等、とても公平で現実的な考え方をされている。安心しました。COOPさんも苦慮されているのですね。	
10	生協の事業体運動体のハザマにありながら、明快な意見をお持ちである事、感銘しました。	
11	小売りとして消費者が”表示をどのようにみているか”が良くわかった。	
12	①消費者が本当に自分の知りたいことを認知しているか？ ②何を知ったら「安心」を感じる「目安」が明確か？ ③「安心」＝「ステータス」かも？	
14	食品表示は消費者の安全・安心の為にあるはずなのに、実際商品を購入する際に文字数(情報)の多さに困ってしまいます。井之上さんの努力が長いものに巻かれてしまい残念です。	
17	弁当やサンドイッチなど商品は日々変わる食品も多いので、考えさせられるというか、納得できる内容のものであった。	
18	食品表示法をまとめて理解できた。	
19	日本生協連の取組を含め、よくまとまっていた。	
20	具体例を示しつつ解説いただき、イメージしやすかったです。	
21	委員会の中身がうかがえて良かったです。	
22	日本生協連での活動について有意義でした。	
24	わかりやすく良かったです。	
25	消費者があまり認識していない中、数億のお金をかけて表示を変更する意義はあるのか？	
26	明解で現実にとつた正直な話であり参考になった。CO-OPがリーダーとなって良い方向へ法改正を願います。	
27	今の表示法の問題点を良く整理されていて理解できました。この悪法はどうしたら良いのか？結論ありきの会議	
28	リスコミの中で、安心信頼に帰する要因かと思う。それだけに難しい。	
34	(今後)どの様に対応されていかれたのか、進捗をお聞きしたいという興味がわきました。	

2	複雑な原料原産地表示は消費者・生産者の利益になるか	中村 啓一
1	表示Gメンとしての経験談が興味深かったです。	
5	豊富な事例による解説で、興味深く聞かせていただきました。	
6	今回の原産地表示の改正？で改善されたことは何なのでしょうか。	
7	すでに自主的ルールを設け、不可としていたことが、新たなルールでは可となっていること、やはりわかりにくい制度である。監視する立場であった中村先生のお話は、行政側からみた問題点も知ることが出来、勉強になりました。	
10	食品表示法の限界を理解した。企業規模で対応する事賛成(米のトレーサビリティ法には原産地より情報開示であった)	
11	行政の中でも、どう考えているのか良く理解できた。特に「加工技術が軽視されることは不安」が心に残りました。	
12	①消費者にも表示が限界であることを知ってもらったらどうか。 ②行政は消費者にこびない姿勢がいる(海外ではどうか？)	
14	ごく一部の企業の食品偽装が表面化し、消費者が過敏になって、より表示が複雑化しているように思います。	
17	中村先生のご用意いただいた阿久澤先生のご意見に加工食品業者として同意見であります。	
18	もう一つ原料原産地表示が制定された理由が不明で解消できなかった。	
19	経験をふまえた話で、おもしろく聞けました。	
20	記憶にある過去の食品事故についての話が聞けて興味深かったです、私の知識が乏しく理解しづらい点がありました。	
21	捜査権のない中での調査が難しそうです。	
22	産地偽装のお話は、とても興味深くお聴きしました。	
24	わかりやすく良かったです。	
25	国産信仰は実はマスコミが作りだしたもの。消費者は今までの表示で賢く費用対効果を考えている。回収も増えるかもしれない等々考えると、新表示の意義とは？	
26	実例を踏まえての解説で良く理解できた。しかしこの摘出された問題をどう改訂していくにはどうするのか？	
27	内部告発の問題は今後の制度に生かされるのか？	
28	原料原産地表示、政治的配慮が効いているとのこと、もう少しお話し頂きたかった。(支障があるのでしょうか)	
31	原料原産地表示については、自社商品の表示をチェックしている側からすると、とんでもない基準を作ってしまったのではないかと考えています。消費者が必要としている情報発信ができるようになることを望みます。	

3	『「安全情報」と「安心情報」の切り分けが重要だ	山崎 毅
1	安心と安全の考え方がよくわかりました。	
5	食の安全と安心について、大変分かりやすい説明で参考になりました。	
7	「地球表示」がよくないというのは理論上わかりますが、現実はそのようなをえないでしょう。「外国製造」とできるためには、3か国以上必要で、無理やりそのように調達するのが誤りのない表示になります。表示していない国、産地、製造地のものは使えませんので。	
10	安全・安心の切り分け判りやすかった。	
11	中小企業の販路拡大にも通じる話と理解しました。	
12	バイアスの話は、どこまで一般の人がバイアスを認知できてるかがカギかと思う。	
14	とてもわかりやすいお話でした。無農薬・無添加神話を信じている人たちに聞いてほしいです。	
17	栄養成分表示、アレルゲン表示など食の安全情報に集中する表示方法中心で良いと思う。	
18	消費者の信頼を得る事が大切な事はよくわかりました。	
20	CS対応の方針づくりの参考になります。	
21	企業として安全ですよと言い切るのが難しい。	
22	リスコミを考える上で有意義なお話でした。	
24	わかりやすくて良かったです。	
26	認知バイアスの件、今後理解に努めます。	
27	マーケティングバイアスを次回に話してほしい。	
28	いつも判りやすい論旨です。	
31	安全と安心の情報がどうあるべきかを常々考えていました。表示が一元化されてから、それがわかりにくくなってという話は、その通りだと思いました。	
32	安全・安心情報を議論する際に「アレルギー表示」「栄養表示」を「添加物」などと横並びにすることで混乱がおきくと思います。「安全」は客観的に評価できるもの「安心」は主観的という大前提からはずれるのが「アレルギー」「栄養成分」だと思うからです。アナフィラキシーを起こすような方にとって、一般に「安全」とされるものが安全でない。栄養成分については食品そのものより摂り方と量のリスクの方が重大な課題と考えます。	
34	買う側・使う側の責任があまり議論されていないと感じましたが、安全⇒科学、責任⇒安心 かなと納得しました。	

4	パネル・ディスカッション：『原料原産地のリスコミのあり方』	パネラー全員 進行：山崎
5	無添加、無農薬について、井之上さんのような考え方を持つ方が、生協のメジャーになると良いと思いました。	
10	生協の話を引き出した事良かった。リテラシーを上げるのは学校教育が必要	
12	今からでも法律をどうかできないか？ 別の名前の法律におきかえるとか？ あるべき姿をつくる＝「見える化」へ	
13	様々なご意見を聞くことが出来、大変参考になりました。	
14	正しい知識を持ち合わせないと「〇〇不使用」が安全と思われて、マーケティングバイアスに流されてしまう危険性を感じました。	
17	各々の立場の考え方が分かり、又どこに誤解があり、それをどう直していくのかの方法を当社に置き換えて考える良い機会であった。	
21	方向性は同じかな。	
22	マーケティングバイアス、生協の方に聞きたいと思っていたので、興味深くお聴きました。	
24	リスコミのあり方というより、原表示制度のあり方に関するディスカッションのウエイトが高かったと思います。”リスコミのあり方”に期待していたので、少し残念です。	
25	質問したい人が居る中で、座長の話している時間が長かった。	
27	最後の方の盛り上がり良かった。生協はオピニオンリーダーであるべき。2年後見直しのあり方論	
28	マーケットバイアスですね。自分の価値観(安心)を他人に押し付けるべきではない。	

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
1	初めて参加しましたが、今後も参加したいと思います。
3	農業改革でもそうだが、政府の結論ありきで現場を知らない審議会の座長が委員会を進行し、政策決定される今の政治プロセスは大変問題である。
5	実態のよくわかる話で、とても参考になりました。
7	事業者、監視側、(科学的)リスコミ、どの立場からしても問題の多い制度であることがわかりました。クローズゆえの率直なご意見が聞けて勉強になりました。
11	①誰のため？何のため？の表示？⇒本当に”正しい情報伝達”になっているのか？ ②全て「現物に書け！」というのはナンセンスではないか？
12	全てに「無膠性」を求めると、かえって良くないですね。
14	表示する側の苦労(コストなど)、消費者に伝わっていない無念さを感じました。メディアは消費者に不安をあおるような情報をいわずに挙げてほしくないですね。
15	これまでのフォーラム以上に「リスクが無い事柄へのリスコミ」でしたが、情報の送り手と受け手のギャップをどのように埋めるかという点で参考になりました。
16	マーケティングバイアスを社内で日常的に感じている。社内でのリスコミを今日の資料・やりとりを参考にしながら考えてみたい。
17	産地表示の義務化の流れを知る機会を得られて(このフォーラムで参加することで)感謝しています。当社品管部社員が表示法改正に疑問を抱いている背景等が(監査役として)客観的に分かっただけでも大変有意義でした。
18	もう1～2回/年 増やしていただきたい。
20	リスコミについて、どのようなものか少し理解できた。
21	原料原産地表示は必要という意見の人がいると面白かったかも。
24	話が明確で理解がしやすかった。
26	多くの立場の人に聞いて頂きたいフォーラムと考えます。良い企画と思います。
27	一般消費者向けのフォーラムを強化してほしい。
28	(今の制度がいいとは思わないが)安心の部分で、原料原産地表示は重要と感じた。
30	業界や消費者間の情報の一元化の必要性を痛感。国の審議会でも事実より政治力が大きいこと。
31	日頃、仕事の中でもやもやしていたことが整理できたように思います。しかし、表示基準は守らなければならない事項です。より消費者の必要な情報が発信される基準に変わっていくことを期待します。
33	難しい問題がよくわかりました。
35	原料原産地の情報開示において取組をすすめています。全ての先生方のお話が今後の方向を決めるのに大変参考になりました。

6	今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
2	食品防御、食品偽装(産地のみならず、もっとグローバルな視点でGFSIスキームに準ずる)、食品安全の考え方(添加物や容器包装)について日本と海外との差異←輸出入障壁になってないかの観点で
5	食品の包材について、環境問題、ポジティブリスト制など含めて包括的に
11	8年後の被災地の状況(産業の復興の状況)など
12	安全ー安心ーコンプライアンスー安心とコンプライアンスの関係
13	SNSへの対応
18	食品照射、安全の科学的検証の仕方 又は事例
20	地方の中小食品加工業者のスタッフで意識の高くない者に対し、どう人材育成していくべきか
21	ゲノム編集、フリーという表示
24	添加物表示のあり方
32	「食の安全・安心」については本来非常に大きなテーマで、いろんな視点から議論されるべきものと考えます。「食品の安全・安心」はその中のひとつの最大の関心事ではありますが、切り口でしかないようにも思います。残念ながら無関心層(意識も知識も少ない)が大半を占めていて、実は一般消費者はもっと基本的な知識の乏しいレベルであると感じます。
33	食の持続性(エコラベル)

7	消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか？
5	気の長い話ですが、学校教育の場ではないかと思えます。
11	産地の現状を知ってもらうこと
12	①政府のきちんとした考え方 ②消費者の知りたいこと(ニーズ)の明確化(これはアンケートでわかるか?) ③ ①>② ②はコントロール可能か⇒やった方が良いのでは？
13	学校教育、行政の信頼度向上
23	マスコミへの教育
24	行政・NPO・企業・消費者が共通してコミュニケーションができるプラットフォームの存在
27	消費者参加フォーラム
30	事業者からの積極的な情報発信(現状は炎上を恐れて静観している)
33	消費者教育